



会報

創刊号
京都野球協会

2014年 定期総会開催される

京都野球協会第34回総会報告

3月12日（水）午後6時より恒例の定期総会が、58名の出席者の下、ホテル日航プリンセスに於いて開催された。開会にあたり、乾康之助会長から挨拶があり、当協会が更なる活発な活動を推進していくために、まず「組織の拡張」を図ること、そのために個人会員、賛助会員を増やしていくこと、また当協会を現在の任意団体から一般法人に「法人組織の確立」をすること、更に、高校野球連盟を始め、他の団体との協調や積極的な支援をしていきたいとの活動方針を話された。

引き続き、司会の片山寄世史副理事長から協会規約第21号に則り定足数を確認の上、総会の開会を宣言された。総会議長には、同規約第17条に則り乾会長が務められ、議事が進行された。



議題1. 会則の改正について

原田理事長から次の提案があった。

規約第4章第7条の第6号に新たな役員として「会計」を追加して、正会計に溝口潔理事を、副会計には檜垣信行理事を選出したとの報告があり、満場一致で承認された。

議題2. 平成25年度事業報告について

総務企画委員会報告を原田理事長から、普及委員会報告を森永委員長から、受託施設管理運営委員会報告を宮木委員長から資料（図1）に基づいて報告があり、満場一致で承認された。

議題3. 平成25年度収支決算報告について

会計担当の溝口理事から資料（図2）に基づいて報

〈図1. 平成25年度 事業報告〉

月 日	総務企画委員会	月 日	普及委員会 主催事業
1月		1月 20日	少年野球教室（日本新薬）
2月 20日	常任理事会・理事会	2月 17日	八幡少年野球審判講習会
3月 7日	総会・懇親会	3月	
4月 5日	第1回 総務企画委員会	4月	
23日	第1回 常任理事会	5月 12日	西京都少年野球審判講習会
5月 17日	第2回 常任理事会	6月	
6月 5日	第2回 総務企画委員会	7月	
7日	機関紙「野球人京都」刊行	8月	
19日	第1回 副理事長会	9月 7日	学童野球抽選会・同大会予選
26日	第1回 理事会	8日	西京都少年野球審判講習会
同	第3回 総務企画委員会	28日	学童野球フェスティバル
7月		10月	
8月 20日	第2回 副理事長会	11月 17日	京都野球祭
29日	第4回 総務企画委員会	12月	
9月 4日	京都野球殿堂委員会	月 日	普及委員会 後援事業
10日	第3回 副理事長会	6月 23日	全京都大学野球トーナメント大会
12日	第5回 総務企画委員会	8月 7日	京都府野球連盟主催 京都リトルシニア野球教室
16日	第2回 理事会	14日	全京都大学野球トーナメント大会
10月 8日	第4回 副理事長会	9月 29日	京都府立医科大学主催 市民公開講座 講師 工藤公康氏
9日	京都野球殿堂委員会	11月 23日	京都リトルシニア野球大会
11月 12日	第5回 副理事長会	30日	ニチダイ主催少年野球教室
12月 10日	第6回 副理事長会		
17日	第3回 理事会		
受託施設管理運営委員会			
通年・西京極野球場管理運営業務			

〈図2. 平成25年度 収入支出決算表〉

収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
会費	1,900,000	1,530,000	管理費	1,020,000	806,845
会費	1,000,000	645,000	会議費	700,000	568,103
賛助会費	650,000	620,000	需用費	300,000	220,892
特別会費	250,000	265,000	諸費	20,000	17,850
事業収入	200,000	90,000	事業費	1,000,000	599,750
広告収入	200,000	90,000	事業費	500,000	290,770
その他	0	0	普及委員会経費	500,000	308,980
寄付金	100,000	152,000	積立金	200,000	0
寄付金	100,000	152,000	予備費	736,202	0
前期繰越金	674,702	674,702			
雑収入	81,500	521,328			
雑収入	80,000	20,000			
預金利息	1,500	140			
交付金	0	500,000			
その他	0	1,188			
計	2,956,202	2,968,030	計	2,956,202	1,406,595

収入額	2,968,030	平成25年度	中信普通預金	3,139,591
支出額	1,406,595	財産内訳	現金	120
差引残高	1,561,435		財産合計	3,139,711

告があり、続いて、木下幸典幹事から会計監査報告があった。質問を受けた後に承認を求めたところ、満場一致で承認された。

議題4. 平成26年度事業計画について

原田理事長、森永普及委員長、宮木受託施設管理運営委員長から資料(図3)に基づいて報告があり、満場一致で承認された。なお、主催行事の日程等を会員に知らせるよう要望する意見があった。

議題5. 平成26年度収支予算案について

原田理事長から資料(図4)に基づいて説明があり、質問の後承認を求めたところ、満場一致で承認された。

議題6. 京都野球殿堂第1回顕彰者について

原田理事長から、第1回顕彰者7名の候補者を資料

(4頁掲載参照)に基づいて報告があり、意見を求めたが特になかったため、承認を求めたところ、満場一致で承認された。

その後、議長の宣言があり議事が終了した。

第86回選抜高等学校野球大会出場校激励

続いて、第86回選抜高等学校野球大会に出場する龍谷大学付属平安高等学校、福知山成美高等学校の活躍を祈念して、記念品の目録(硬式ボール5ダース)を乾会長から手渡された。平安高校は沖縄遠征中のために、前コーチの石黒丈士氏が、福知山成美高校は田所孝二監督と井本自宣部長が出席された。

(図3. 平成26年度 事業計画)

Table with 2 main columns: 月日 (Month/Day) and 総務企画委員会 (General Affairs Committee). It lists various events and meetings from January to December, including general assemblies, board meetings, and specific sports events like youth baseball clinics and tournaments.



感謝状授与

長年当協会の役員として尽力された、4名の方々に対して感謝状が乾会長から授与された。

- 受賞者は、小林祥一氏 前会長
竹中清二氏 前理事長
清水忠雄氏 前副会長(故人)
奥村久嗣氏 事務局長(故人)

なお、故人のお二人については、後日自宅へお届けした。

(図4. 平成26年度 収入支予算案)

Table with 2 main columns: 収入の部 (Income Section) and 支出の部 (Expenditure Section). Each column has sub-columns for 科目 (Item), 予算額 (Budget), 前年度決算額 (Previous Year Actuals), and 備考 (Remarks). It details financial data for various categories like membership fees, operating costs, and grants.

二部 懇親会開催

引続いて、懇親会が宮木副理事長の司会で開催された。

冒頭、乾会長挨拶、来賓の繁市議員からの祝辞、小林前会長の乾杯のご発声の後、和やかなうちに進められた。

宴の最中、選抜高校野球大会出場の出場龍谷大学付属平安高校は石黒前コーチから、また福知山成美高校は田所監督から決意表明とお互いの健闘を誓い合う言葉があり、出席者から盛大な拍手で激励された。

山下副会長の閉会挨拶で午後8時30分閉会された。

受託施設管理運営に伴う収支計算表

平成25年度の収支計算表（平成25年4月1日～平成26年3月31日）は次のとおりです。報告いたします。

〈平成25年度 収支決算表〉

西京極球場管理事務所
平成25年4月～平成26年3月

収 入			支 出		
科 目	予算額	決算額	科 目	予算額	決算額
管理受託費	23,722,540	23,722,540	管理受託費	23,722,540	22,678,647
人件費	20,322,540	20,322,540	人件費	20,322,540	21,665,866
施設運営費	2,900,000	2,900,000	施設運営費	2,900,000	1,488,650
事業費	500,000	500,000	事業費	500,000	453,374
			予備費	229,484	
前期繰越金	229,484	229,484			
利 息		791			
雇用保険本人分		15,312			
合 計	23,952,024	23,968,127	合 計	23,952,024	23,607,890

本年度この後の行事（お知らせ）

■京都野球協会主催事業

○京都野球殿堂第1回顕彰者パネル除幕式

6月21日（土）午前9時30分頃

於・わかさスタジアム京都 2階通路

全京都大学野球トーナメント大会開会式の直後に京都府知事・京都市長のご出席の下行います。

なお、京都府及び京都市からこの事業に対するご後援をいただくことになりました。

○学童野球大会予選

9月13日（土）・14日（日） 於・岡崎球場

○学童野球大会

10月4日（土） 於・岡崎球場

○京都野球祭

11月9日（日） 於・わかさスタジアム京都

■京都野球協会後援事業

○全京都大学野球トーナメント大会 ファーストステージ

6月21日（土）・22日（日） 於・わかさスタジアム京都

○韓国シニア・八幡シニア親善試合

8月1日（金） 於・太陽ヶ丘球場

○全京都大学野球トーナメント大会 ファイナルステージ

8月13日（水）・14日（木） 於・わかさスタジアム京都

○ニチダイ主催 少年野球教室

11月未定 於・ニチダイ野球場

○京都リトルシニア野球大会

11月未定 会場未定

京都野球殿堂

京都野球殿堂は、京都の野球界の発展に尽力された

「京都ゆかり」の方々の功績を称えることを通して、先人への憧れを醸成し、ひいては、野球を愛する多くの青少年の健全育成につながるものと確信するものがあります。

被表彰者については、その功績を記した楯（パネル）を作成し、京都における野球の聖地である西京極球場（わかさスタジアム京都）に掲示し、広く周知をはかります。

このことが、京都の野球界の発展に寄与するものであると考えます。

第1回京都野球殿堂 顕彰者・功績

I. 顕彰者

1. プロ野球功労者

①澤村 栄治 ②市岡 忠男

2. 社会人野球功労者

③五十嵐義臣

3. 大学野球功労者

④太田嘉兵衛

4. 高校（大学）野球功労者

⑤中澤 良夫 ⑥氷見 一雄

5. 特別功労者

⑦森下 弘

II. 顕彰文

1. プロ野球功労

①澤村 栄治

生年月日：1917年（大正6年）2月1日

没年月日：1944年（昭和19年）12月2日

出身校：伊勢市明倫校～京都商業中退

功績：1934年（昭和9年）全米オールスターチームを迎えての親善試合に登板し好投。翌35年（昭和10年）米国遠征を経て東京ジャイアンツに入団。1937年（昭和12年）日本野球連盟最初の最高殊勲選手に簡拔され、その名声は、プロ野球創生期の象徴として球史を飾る。ノーヒットノーラン3度、通算63勝22敗、防御率1.74。台湾沖にて27歳で戦死。背番号14は永久欠番。1959年（昭和34年）日本野球殿堂入り。

②市岡 忠男

生年月日：1891年（明治24年）11月15日

没年月日：1964年（昭和39年）6月23日

出身校：京都市立商業学校～早稲田大学

功績：早稲田大学の主将・捕手として名声高く、1925年（大正14年）に監督を勤める。1930年（昭和5年）に読売新聞社に入社。翌年の1931年（昭和6年）にアメリカ大リーグを招待し、成功を収めるなど、わが国に職業野球の機運を作る。1936年（昭和11年）日本職業野球

連盟創立とともに初代理事長として活躍し、さらに巨人軍の球団代表を務めるなど、今日の隆盛の道を拓いた功労者である。1962年（昭和37年）日本野球殿堂入り

2. 社会人野球功労者

③五十嵐 義臣

生年月日：1910年（明治43年）5月13日
 没年月日：2000年（平成12年）1月22日
 出身校：富山中学～京都大学（中退）
 功績：京都大学中退後、入社した京都大丸で1948年（昭和23年）創部された野球部の初代部長に就任。1950年（昭和25年）には、都市対抗野球に初出場した自チームを黄獅子旗（第3位）へと導く。1952年（昭和27年）、京都社会人野球連盟理事長に就任。以降1974年（昭和49年）まで、京都社会人野球界を主導し隆盛期をもたらした。その象徴的なこととして1963年（昭和38年）の都市対抗野球京都市代表積水化学の優勝が挙げられる。京都市はこの優勝を記念して西京極球場三塁側に優勝記念のスタンドを設置。また1953年（昭和28年）からは日本野球連盟の理事・監事・評議員等の要職を歴任し、JABA京都大会の誘致に尽力するなど日本の社会人野球発展に寄与した。

3. 大学野球功労

④太田 嘉兵衛

生年月日：1911年（明治44年）8月1日
 没年月日：1967年（昭和42年）12月30日
 出身校：京都二中～立命館大学
 功績：1947年（昭和22年）から母校の京都二中の監督を引き受け、復活した選抜中学野球全国大会（甲子園）に出場。また同時期に立命館大学の硬式野球部の監督に就任し、20年間にわたり勤める。その間、西京都信用金庫理事長の要職をこなしながら、立命館大学をリーグ優勝10回、全日本大学野球選手権優勝2回の栄光に導く。野球人の育成にも多いに尽力した。

4. 高校（大学）野球功労

⑤中澤 良夫

生年月日：1883年（明治16年）9月19日
 没年月日：1966年（昭和41年）8月28日
 出身校：第三高等学校～東京帝国大学

功績：中学・高校野球、京滋大学野球の生みの親といわれる。1901年～1902年（明治34～35年）ごろの旧制第三高等学校（現京都大学）時代に三塁手として活躍。1916年（大正5年）の全国中等学校野球大会の創設に尽力。1948年（昭和23年）に現日本高校野球連盟の第二代会長に就任。1966年（昭和41年）の没まで会長を勤める。その功績により、日本高校野球連盟の本部は、現在中澤佐伯記念野球会館と命名されている。また、京都工芸繊維大学学長時代の1950年（昭和25年）京都六大学野球連盟（現京滋大学野球連盟）を創設し、初代会長として大学野球の発展にも尽力した。1991年（平成3年）日本野球殿堂入り。

⑥氷見 一雄

生年月日：1909年（明治42年）1月4日
 没年月日：2004年（平成16年）9月10日
 出身校：京都師範学校
 功績：京都師範学校在学中から野球部で活躍。師範学校卒業後は、教鞭をとる傍ら、中学野球の審判員として大会の運営を支える。1947年（昭和22年）からは京都府高等学校野球連盟の事務局長、理事長、副会長などの要職を歴任し、その後、1977年（昭和52年）からは、日本高校野球連盟事務局長を勤めるなど、京都府及び日本高校野球連盟の発展に多いに寄与した。

5. 特別功労

⑦森下 弘

生年月日：1902年（明治35年）10月25日
 没年月日：1990年（平成2年）1月17日
 出身校：小樽高等商業学校～九州帝国大学
 功績：1933年（昭和8年）8月日本新薬に入社。1946年（昭和21年）から1987年（昭和62年）までの約40年社長を務める。その間、1955年（昭和30年）日本新薬硬式野球部を創部。以後、同野球部をわが国有数の社会人野球チームに育てる。1957年（昭和32年）に京都野球審判協会の初代会長に就任。1979年（昭和54年）3月京都社会人野球連盟会長に就任し、京都ゆかりの野球人をまとめ、相互の交流を活発化させるほか、審判等の育成に努めるなど、京都野球界の発展に尽力した。



機関紙「野球人京都」が、京都の野球界に関わる全ての方々を対象にして発信するものに対して、このたびの「京都野球協会報」は、当協会の会員間で情報を共有するために発信する機関紙です。この会報が、会員の皆さんが当協会の運営に積極的に関わってくださるためのツールとなれば幸いです。

（編集責任者 原田守光）

京都野球協会 発行人：乾 康之助

〒615-0806 京都市右京区西京極畔勝町15
 集建産業株式会社内

発行日：平成26年5月25日